

2020年9月16日
株式会社日立製作所

英国原子力発電所建設プロジェクト事業運営からの撤退について

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)は、2019年1月に凍結した*1英国での新規原子力発電所建設プロジェクト(以下、ホライズンプロジェクト)の事業運営から撤退することを決定しました。プロジェクト凍結から20カ月が経過し、新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより投資環境が厳しさを増していることも考慮し、撤退する判断に至りました。

ホライズンプロジェクトは、英国における原子力事業の展開と、英国政府のエネルギー政策への貢献ならびに日本の原子力産業を支える事業基盤の維持・強化を図るため、日立が2012年11月に買収した Horizon Nuclear Power Limited(ホライズン社)のもとで、英国ウェールズ北西岸に接するアングルシー島のウィルヴァ・ニューウィッドにおいて、UK ABWR*2基を用いた原子力発電所の開発を進めてきたものです。

日立は、プロジェクトの資金調達モデルや発電所の建設・運営に関する諸条件の決定にはさらなる時間を要すると判断し、2019年1月に、民間企業としての経済合理性の観点からプロジェクトの凍結を決定しました。

今回、事業運営からの撤退を決定したことに伴い、日立は今後、英国政府や関係機関とともに、建設予定地の扱いや ABWR ライセンス*3を所有する日立の協力などについて調整していきます。なお、ホライズンプロジェクトについては、凍結に伴い2019年3月期連結決算において減損損失等 2,946 億円を計上しているため、今回のプロジェクト事業運営撤退に伴う業績への影響は軽微です。

日立は、英国政府、ウェールズ政府ならびに住民の皆さま、日本政府ならびに関係者の皆さまのこれまでのご支援、ご協力に深く感謝します。今後もエネルギー事業を含む社会イノベーション事業を通じて、社会価値・環境価値・経済価値に加え、人々の QoL の向上に貢献していきます。

*1 2019年1月17日付ニュースリリース「英国原子力発電所建設プロジェクトの凍結に伴う連結決算における減損損失等の計上、個別決算における特別損失の計上および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」
<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2019/01/0117.html>

*2 ABWR(Advanced Boiling Water Reactor 改良型沸騰水型原子炉)をもとに英国の環境に適合させた原子炉

*3 2017年12月14日付ニュースリリース「英国向け改良型沸騰水型原子炉の包括的設計審査が計画通りに完了」
<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2017/12/1214.html>

■日立製作所について

日立は、IT(Information Technology)、OT(Operational Technology)およびプロダクトを組み合わせた社会イノベーション事業に注力しています。2019年度の連結売上収益は8兆7,672億円、2020年3月末時点の連結従業員数は約301,000人でした。日立は、モビリティ、ライフ、インダストリー、エネルギー、ITの5分野でLumadaを活用したデジタルソリューションを提供することにより、お客さまの社会価値、環境価値、経済価値の3つの価値向上に貢献します。

詳しくは、日立のウェブサイト(<https://www.hitachi.co.jp/>)をご覧ください。

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
